

経営比較分析表

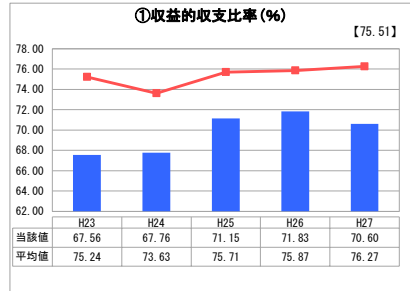
岐阜県 美濃市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.42	2,430

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,653	117.01	185.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,832	7.20	671.11

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



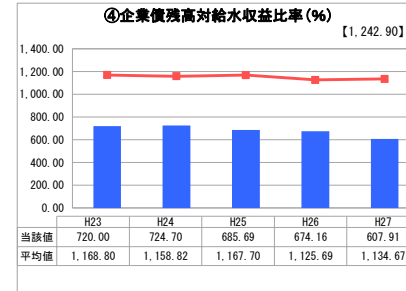
「単年度の収支」



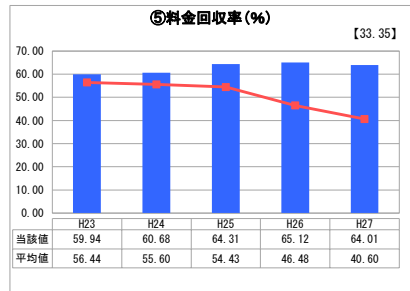
「累積欠損」



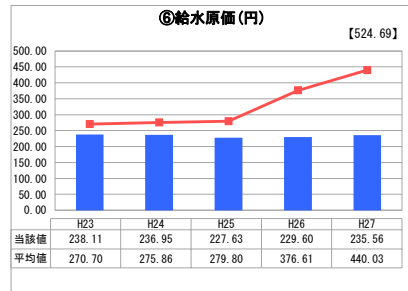
「支払能力」



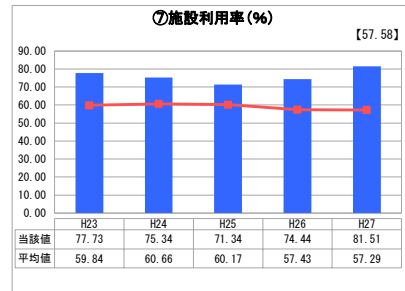
「債務残高」



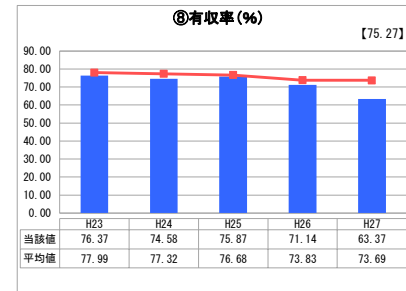
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

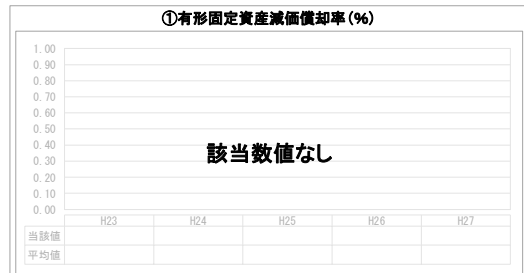


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

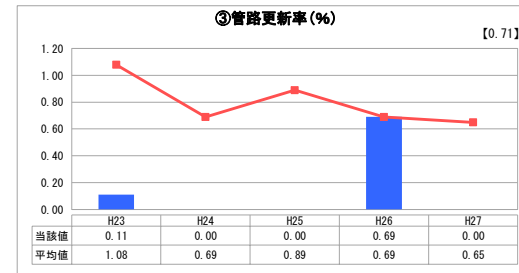
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
人口減少に伴う減収の悪化に歯止めがかからず、赤字補填のために一般会計の繰入金収入に頼っている状況です。かねてからの計画のとおり平成29年4月1日以降は、水道企業会計と経営を一本化し、管路や施設等も上水道へ引継ぎます。

④企業債残高対給水収益比率
平成24年度より徐々に比率は減少し、類似団体と比較しても比率水準は高く適切な投資規模で更新しています。上水道と統合するにあたり平成23年度から平成26年度にかけ設備改良のための借入を行いました。元金部分は平成29年度以降徐々に償還していく予定であり今後の企業債残高の減少を見込んでいます。

⑤料金回収率
類似団体と比較して下落率は高くはないものの財政基盤は脆弱で給水収益以外の繰入金で給水にかかる費用を補填しています。企業会計化後は、健全経営のために適切な料金設定が益々必要となります。

⑥給水原価
豊富な原水を確認できることから給水にかかる費用は安定的に低く抑えられています。

⑦施設利用率
施設は給水量に見合う適切な規模であり、ほぼ横ばいながらも利用率は高く推移しています。

⑧有収率
施設や配管の老朽化で漏水などの収益にならなかった給配水があったため下降しましたが、引き続き漏水調査等により対策を講じる必要があります。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率
老朽化した管路は耐用年数の到来を見越し計画的に更新する必要があります。収益性が低い経営状況より着手が進まない面もありましたが、上水道との事業統合後は、より一層取り組みに努める必要があります。

全体総括

市民に安全な水を安定して供給するため、美濃市水道ビジョンに基づき平成29年度より上水道事業と経営を統合します。人口減少等による給水量の減少など今後の簡易水道地域の収益性の低下は更に厳しいものが予想されますが、費用削減に努め計画的な管路更新や適切な水道料金のあり方を含めた健全な水道経営を上水道事業として取り組みます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。